

調査概要

- 調査テーマ 小学生・中学生・高校生の生活時間の実態と意識に関する調査
- 調査方法 郵送法による自記式質問紙調査
- 調査時期 2013年11月11日(月)～15日(金) ※第1回調査:2008年11月10日(月)～14日(金)
- 調査対象 第1回調査(2008年): 全国の小学5年生～高校2年生 合計8,017名
第2回調査(2013年): 全国の小学5年生～高校3年生 合計8,100名

	小学生		中学生			高校生			合計
	小5生	小6生	中1生	中2生	中3生	高1生	高2生	高3生	
配布数(名)	3,675	3,675	3,675	3,675	3,675	3,675	3,675	3,675	29,400
有効回収数(名)	1,245	1,162	1,130	1,049	1,103	857	763	791	8,100
有効回収率(%)	2,407		3,282			2,411			27.6
	32.7		29.8			21.9			

※調査対象者は、全国の小学5年生～高校3年生のリストに基づいて無作為に抽出した。

- 調査の枠組み 本調査は、時間の使い方についてアンケート形式の設問に回答してもらう部分(PART I)と、平日24時間の生活を15分単位で記入してもらう部分(PART II)から構成されている。このうち、PART IIの結果を本ダイジェスト版にまとめた。

2014年8月発行
速報版

ダイジェスト版

	形式	長所	短所
PART I 時間の使い方 [意識と実態]	・アンケート形式の質問	・同時に行われている行動(いわゆる「ながら行動」)や短い時間で 行われる行動を把握できる ・週単位や年単位の活動を把握できる	・行動の合計時間が24時間にならない ・行動が行われた時間帯を把握できない
PART II 子どもたちの 24時間	・平日24時間の生活を15分 単位で記入してもらう	・24時間の時間配分を把握できる ・行動が行われた時間帯を把握できる	・同時に行われている行動(いわゆる「ながら 行動」)を把握できない ・15分より短い時間で 行われる行動を把握できない ・回答日の行動のみに限定される(毎日行 われる行動でないものはとらえにくい)

■ 調査項目[子どもたちの24時間]

ある1日(24時間)の生活

[記入方法]

- ①11月11日～15日のうち1日を選んで、その日の午前4時から翌日の午前4時までに行ったことを15分単位で回答する。
- ②回答の際には、あらかじめ指定した行動分類(P4参照)から行動を選んで記入する。
- ③2つ以上の行動を同時に行っていた場合は「おもにしたと思うもの」を1つを選んで記入する。

目次

調査概要	2	2. 放課後の生活時間	12
回答者の基本属性	3	①睡眠と食事の時間	12
1. 24時間の生活	4	②遊びの時間	14
①行動別の生活時間	4	③勉強の時間	16
②1日の時間配分	8	④メディアの時間	18
③放課後の時間の使い方	9	調査企画・分析メンバー	20
④24時間のすごし方	10		

■分析にあたって

- ①本文中では、小学5年生を小5生、小学6年生を小6生、両者を合わせて「小学生」と表記し、中学生も同様に、中1生、中2生、中3生を合わせて「中学生」と表記している。ただし、中3生の生活の特徴を示すために、中学生を中1生、中2生を合わせた「中1・2生」と「中3生」に分けて分析したことがある。高校生については、第1回調査（2008年）で高校3年生を対象に含めていなかったため、経年比較をする場合は高1生、高2生を合わせて「高校生」と表記し、単年度（2013年調査）結果を示す場合には高1生、高2生、高3生を合わせて「高校生」と表記した。
- ②郵送法による調査であるため、調査対象には、小学校、中学校、高等学校に在学していない子どもがわずかに含まれている可能性があるが、合わせて小学生、中学生、高校生として分析している。
- ③本文中の「時刻別行為者率」は、時刻ごとに該当の行動を行った回答者が全体に占める比率を示したものである。またP10・11、P14の時刻別行為者率の図は、項目ごとの行為者率を積み上げて示したものである。
- ④15分単位で行動を調査したため、「4時00分～4時15分」の行動を本文中では「4時」の行動と示している。同様に、時刻別行為者率の図では「4時00分～4時15分」の比率を「4時」の比率として示している。
- ⑤本文中で行動を示す際には、行動分類（P4参照）を用いている。
- ⑥図表で使用している百分率（%）は、小数点第2位を四捨五入して算出している。四捨五入の結果、数値の和が100.0にならない場合がある。

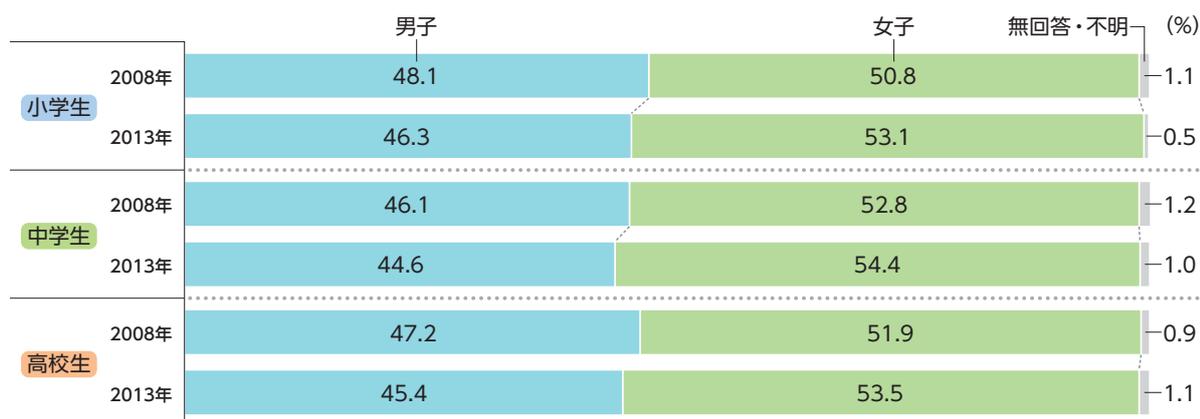
■留意点

15分単位で「おもにしたと思うもの」を選んでもらっているため、15分より短い時間で完了する行動や他と同時に行われる行動（いわゆる「ながら行動」）は短めに表れる傾向にある。

回答者の基本属性

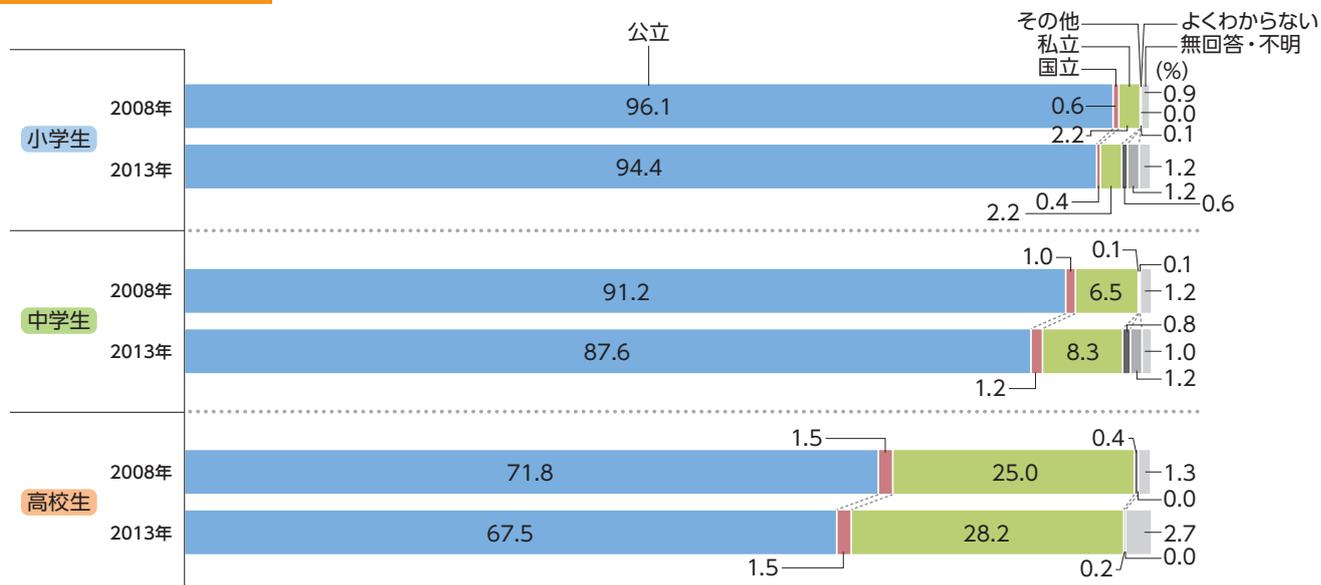
性別

●小学生、中学生、高校生のいずれも、「女子」の回答が多い。



通っている学校の種類

●中学生、高校生で「私立」に通っている子どもの回答割合が、わずかに増加した。



注 高校生は第1回調査（2008年）が高1・2生、今回調査（2013年）が高1～3生。